

4.2 瀬や淵、河原の再生

【基本方針】河道の変遷や河川の自然な流れを考慮しつつ、堆積土砂の除去を行い、瀬や淵、河原の再生など変化に富んだ流れを創出する。




対象区間のうち特に上流部において、流出土砂により淵などが埋まり、川全体が浅くなり、砂州が丘状に発達して樹林化し、水面が狭くなるという現象がみられている。

これらの原因は、複合的なものと考えられ、特定することは非常に困難である。

このため、以下に示すように、現地調査、地元ヒアリング、航空写真の判読により、当該箇所河川特性等からみて不自然に堆積していると考えられる土砂範囲を推定し、それを除去することにより、瀬・淵、河原を再生し、変化に富んだ自然な流れを創出する。

なお、堆積土砂の除去にあたっては、掘削した土砂に含まれる巨石を河道内に再配置するなど、魚類等の生息環境に配慮しながら進める。

表 4.2.1 堆積土砂の推定方法

<p>現地調査</p>	<p>当該区間は上流の渓流部であり、主な河床構成材料は礫と考えられる。流程において不自然にみられる土砂は、本来の河床の上に流出土砂が堆積し、川の営力で流し切れなかったものと考えられる。</p> <p>現地調査において、砂・砂礫の堆積による淵の消失、砂州の発達箇所を抽出する。</p>	
<p>地元ヒアリング</p>	<p>地元ヒアリングにより、土砂堆積が著しいと指摘のあった箇所を抽出する。</p>	
<p>航空写真の判読</p>	<p>過去の航空写真を時系列的に比較し、現在の河道形状が形成された経緯について把握する。また、瀬・淵や砂州形状の安定性等、当該箇所の河道特性を判読することにより、美山川に適した河道形態を推定する。</p>	

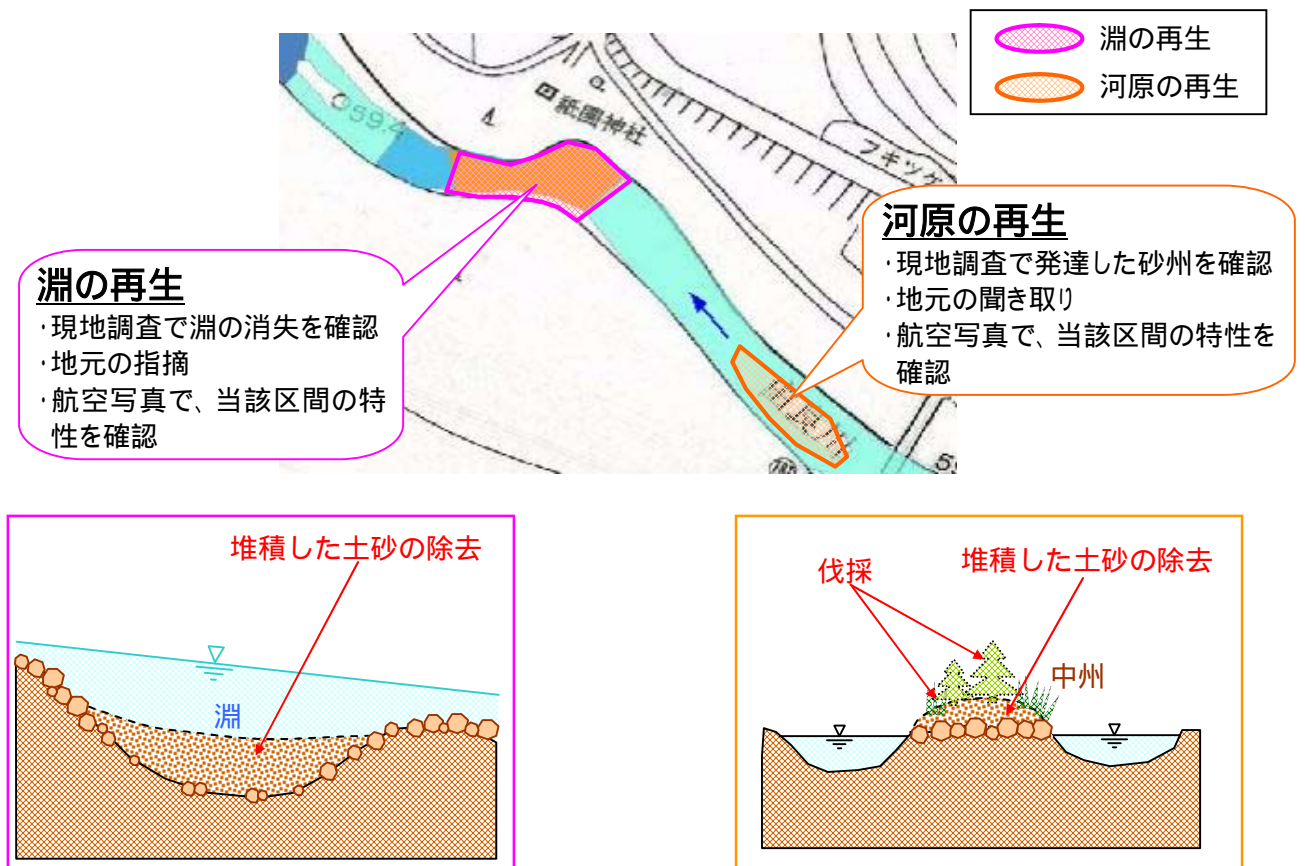


図 4.2.1 堆積土砂の除去イメージ

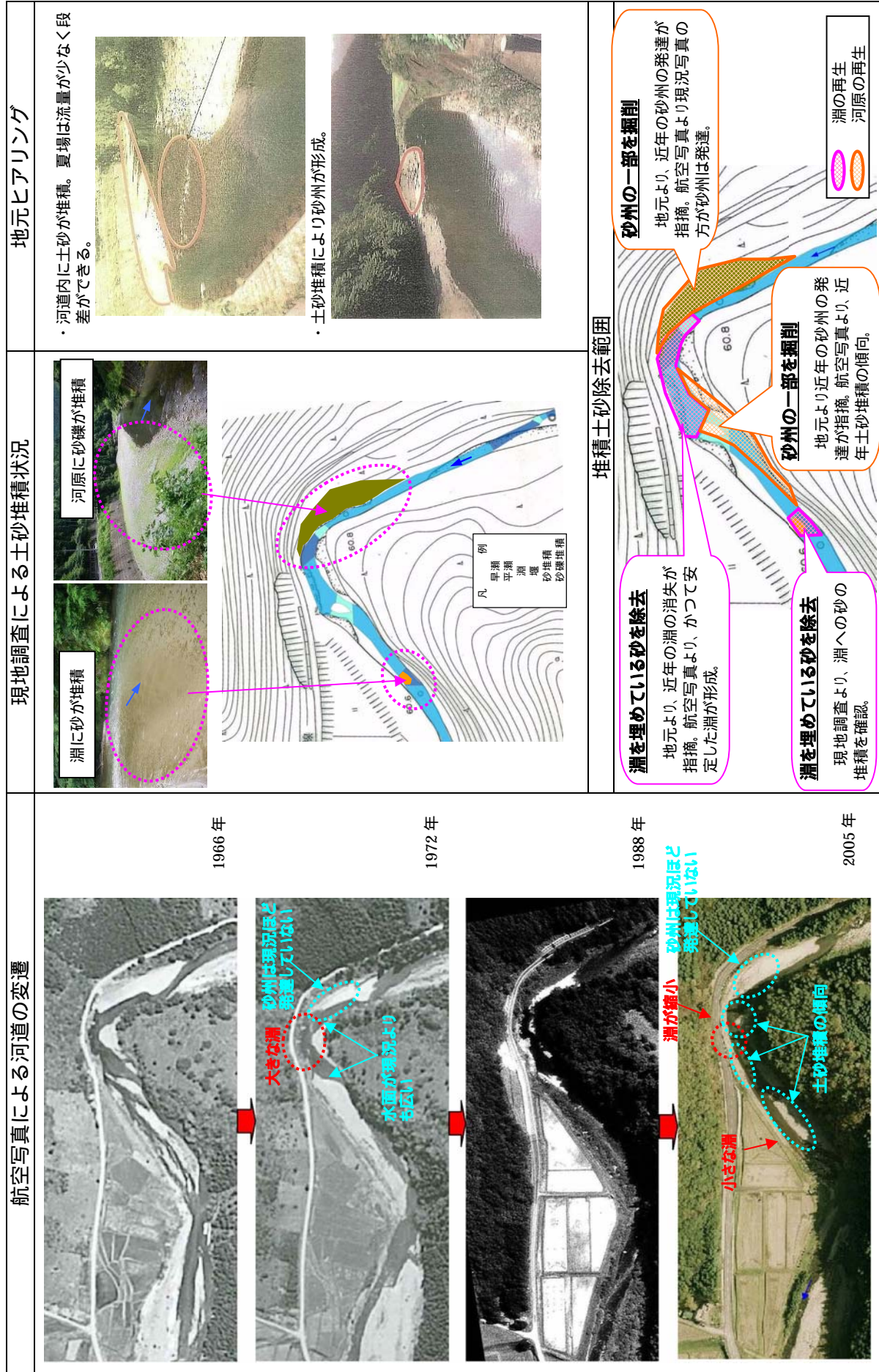


図 4.2.2(1) 五波谷川上流の土砂除去範囲

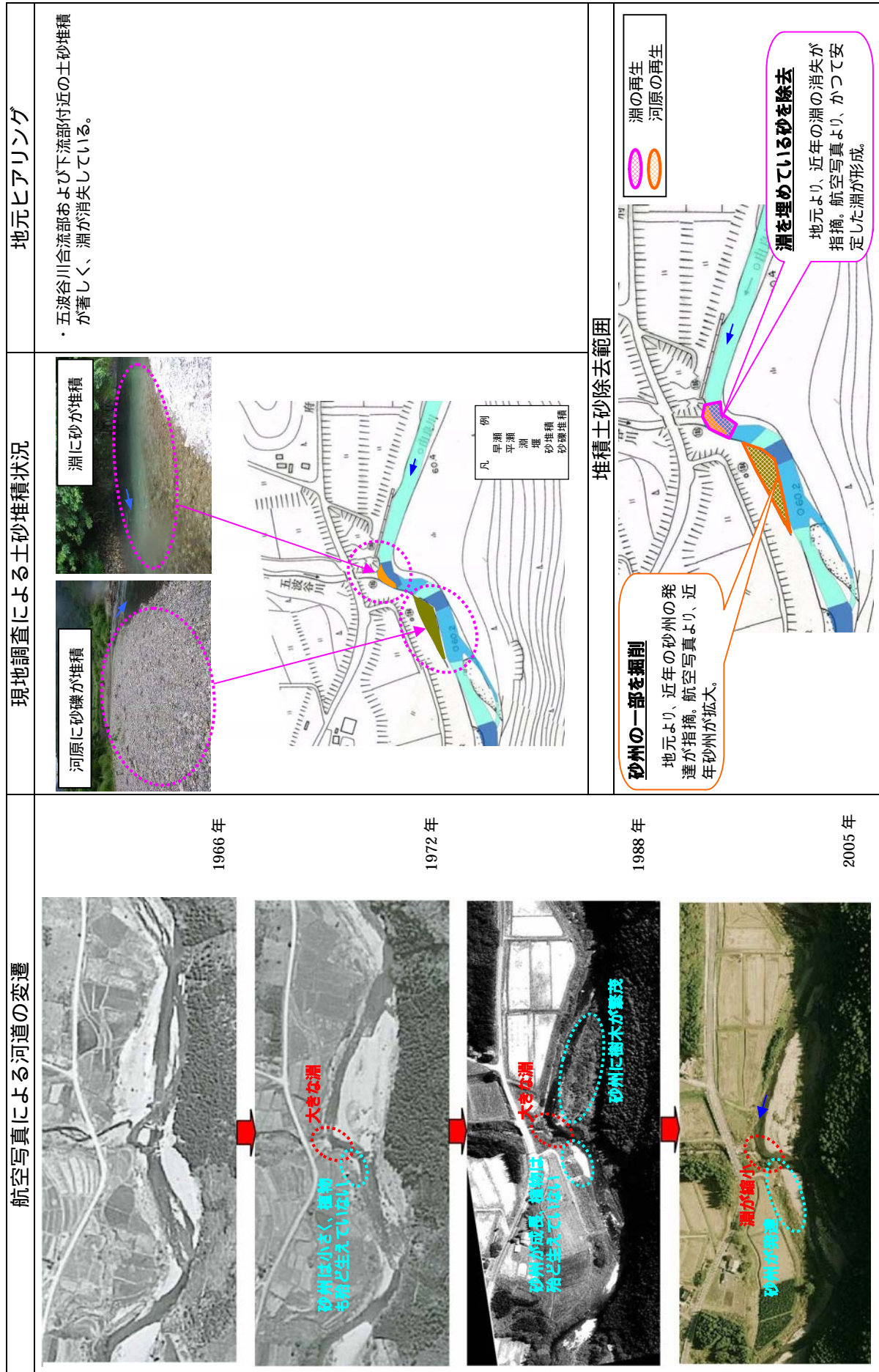


図 4.2.2(2) 五波谷川下流の土砂除去範囲

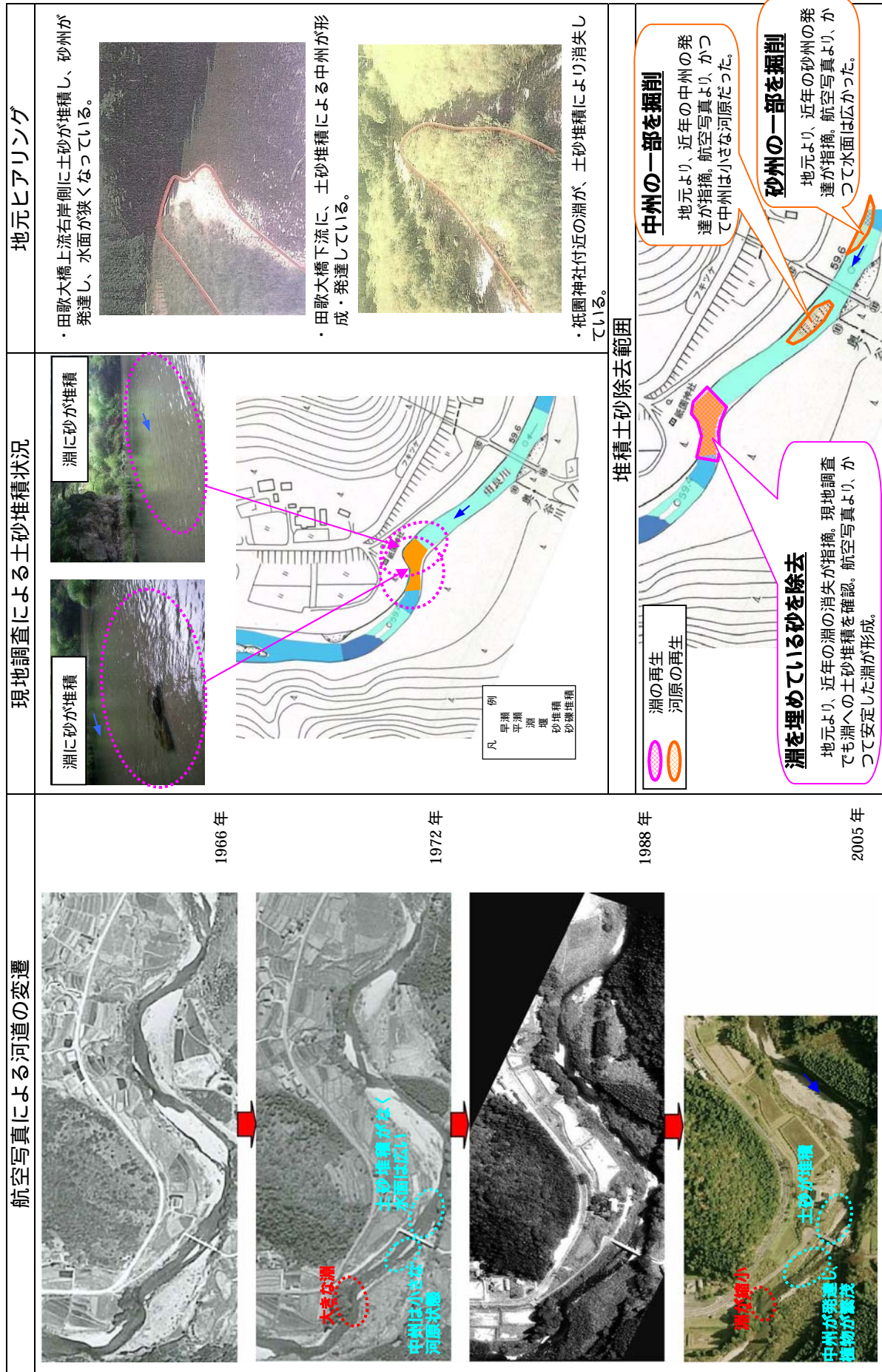


図 4.2.2(3) 田歌大橋下流の土砂除去範囲

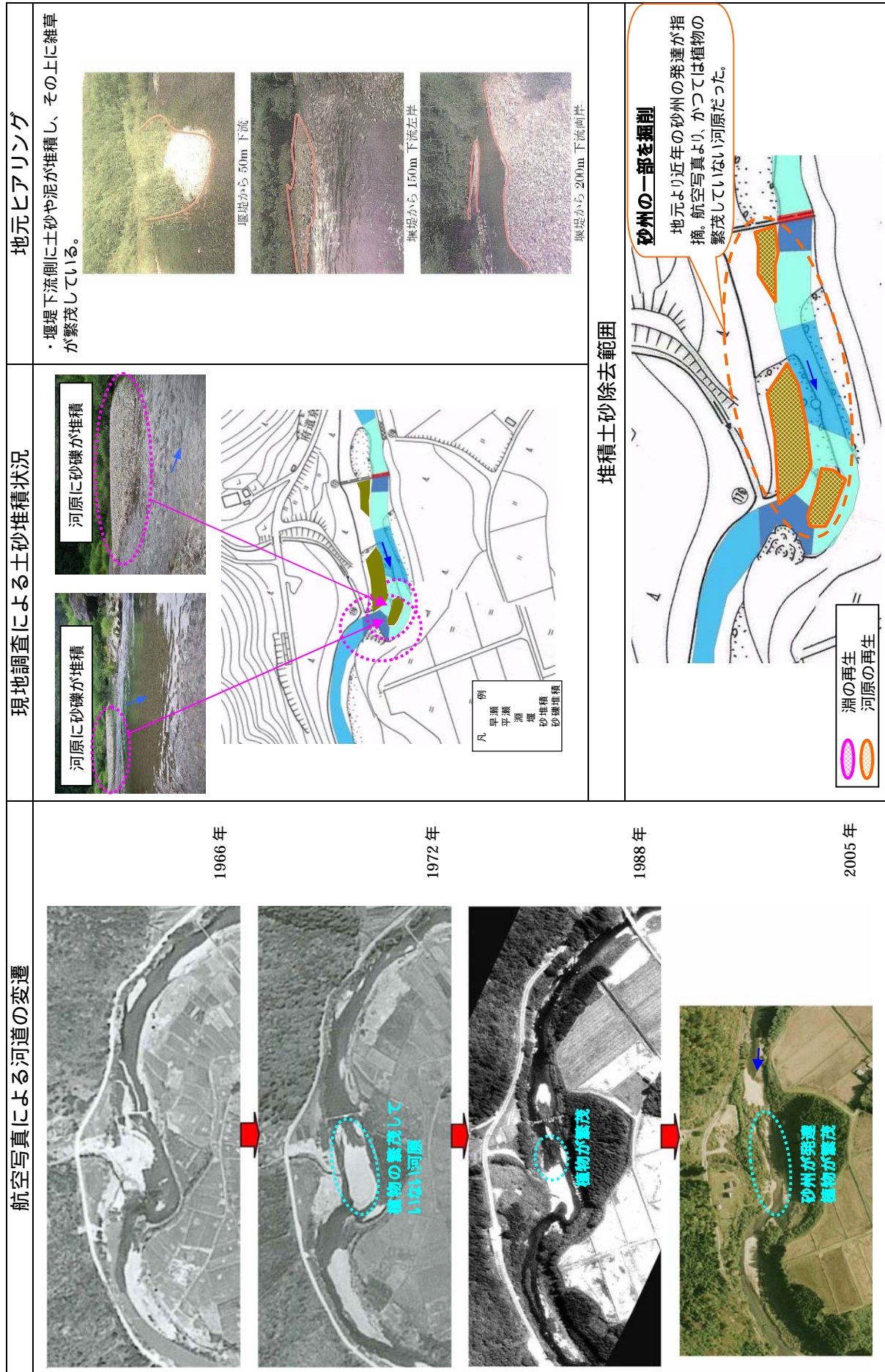


図 4.2.2(4) 伊藤谷堰堤下流の土砂除去範囲

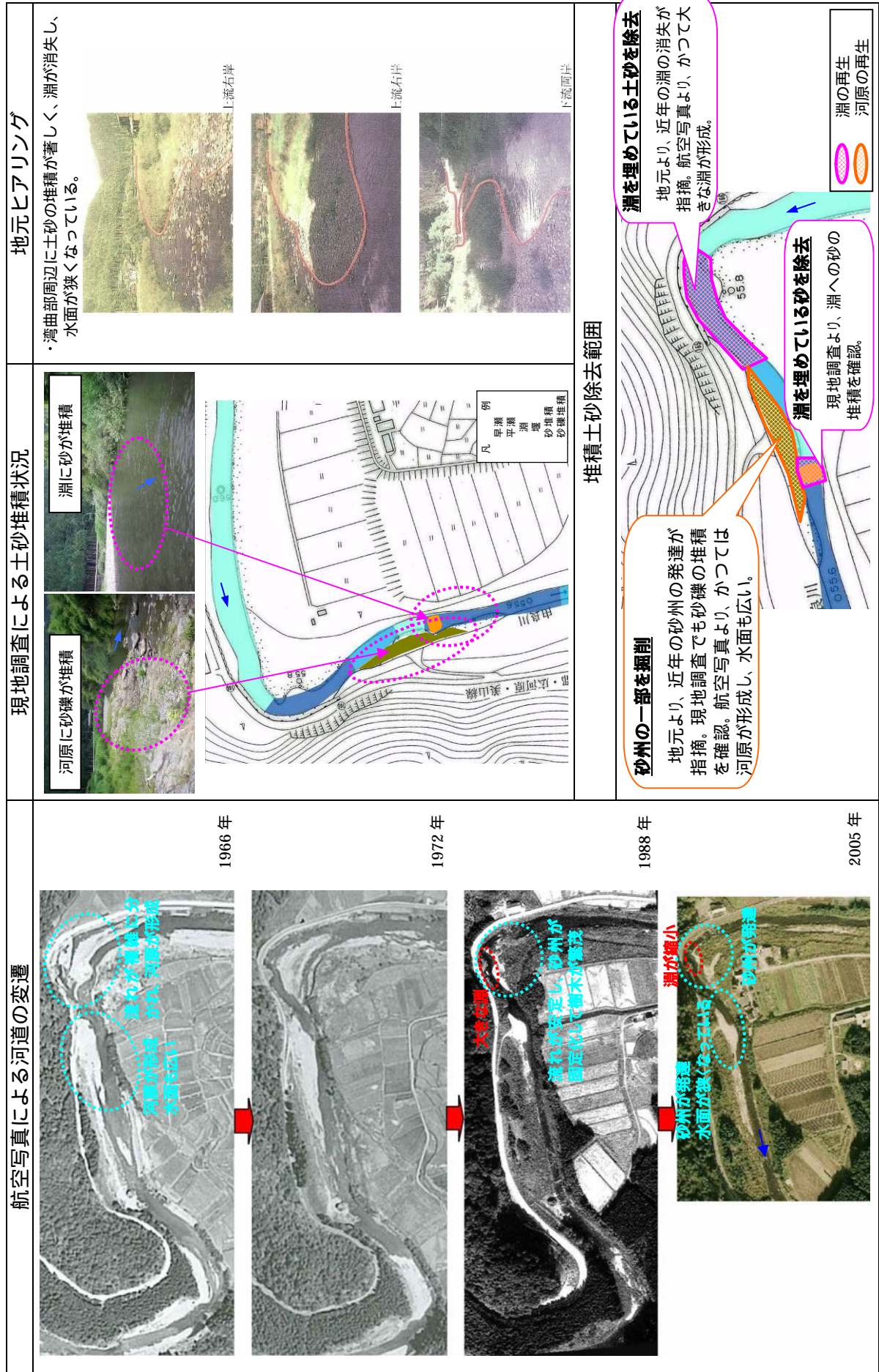


図 4.2.2(5) 黒田大橋下流の土砂除去範囲

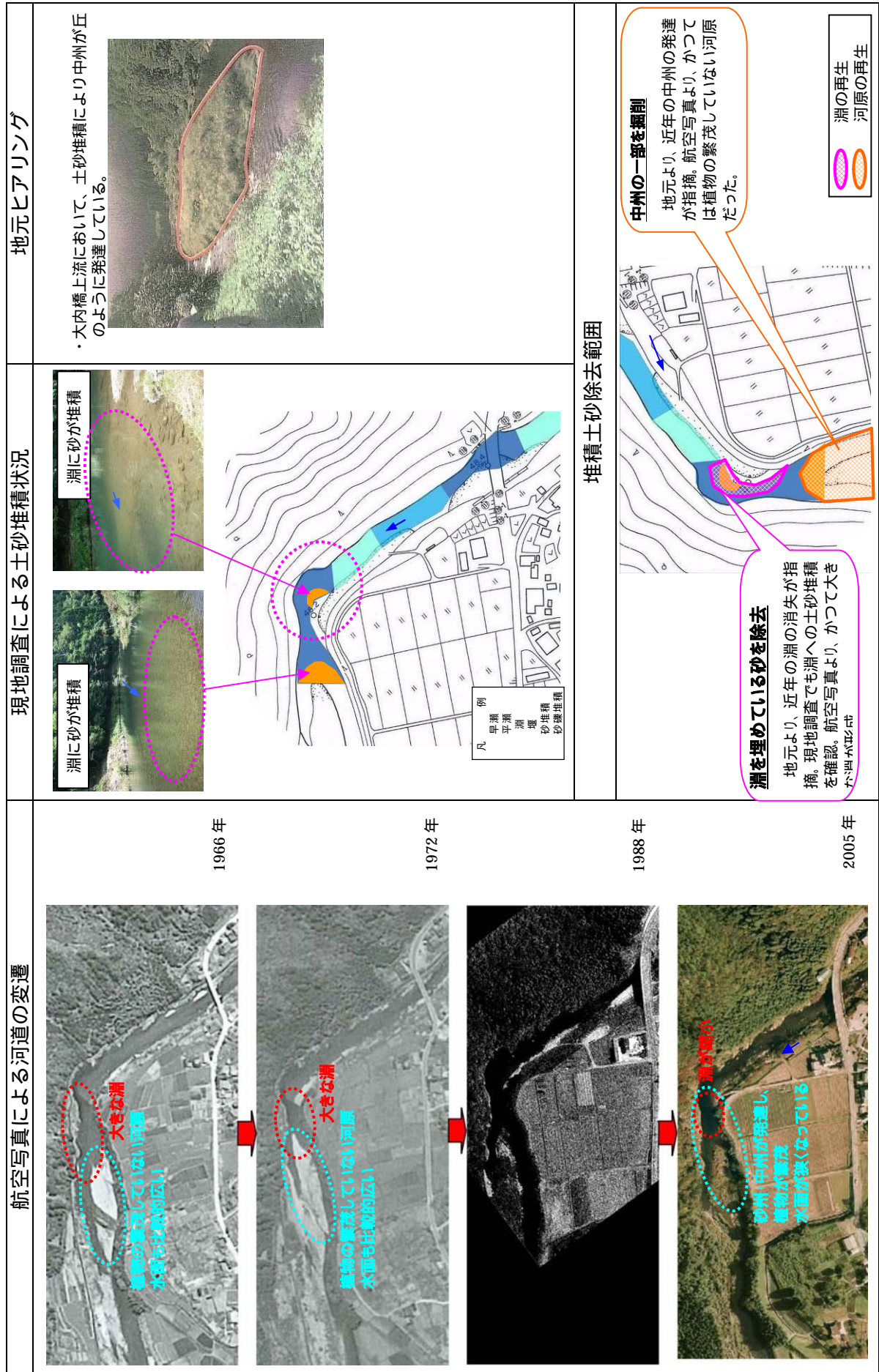


図 4.2.2(6) 野田橋下流の土砂除去範囲